



病棟デイルーム

今年度東病棟は大きな転換期を迎えました。いよいよ7月1日から「回復期リハビリテーション病棟」としてスタートしました。厚生協会内では4ヶ所目となります。

それまでは、障害者病棟として、リハビリ期の患者さんだけでなく重度の要介護患者さんを見てきましたが、7月からは急性期治療を終えリハビリを目的とする患者さんが主に療養される病棟になりました。

多くの患者さんは、急性期を乗り越えたとはいえず、いろいろな障害を抱えながらリハビリ訓練にがんばっています。病前の心身機能にもとるには難しい患者さんも少なくありません。



泉病院東病棟
看護師長 三浦文

厚生協会だより

2008年9月21日
第 291 号

発行
(財)宮城厚生協会
〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：長澤清光

回復期リハビリ病棟の果たす役割

ません。

回復期リハビリ病棟の果たす役割は、「患者さん一人ひとりが残された機能を最大限に活用して、少しでもその方らしい生活(社会生活)に戻れるように支援していくこと」と言えます。そのためにも、職種の垣根を今以上に低くし患者さんの思いに添えられチームめざしてがんばっていきましょうとスタッフ一同意思統一しています。

スタートして2ヶ月、回復期リハビリ病棟としての基準をクリアするために、適応疾患の患者さんで8割を占めることをはじめ、リハビリの重症比率・改善率、自宅退院率等のチェックや評価なども業務化しほぼ順調に船出をしたと言えます。

より質の高い回復期リハビリ病棟をめざす

7月1日から同時に大きく変わったことの一つに、スタッフの体制があります。6名の介護福祉士、11名の看護師・助手という予算要員基準に向け看護師数は減じています。

そして、夜勤が看護師と介護福祉士のペアになったことで、チームを超えて「医療処置」に関わることは看護師が担うなど役割分担をきちんとしながらチームワークよく夜間の患者さんの安全を守り、患者さんの声に添えてがんばっています。

回復期リハビリ病棟スタート前に、一部病棟内の改修も行いました。デイルーム(食堂)が狭く通路のような所で食事をしていただいていた状況が解消し、明るく広くなった食堂は患者さん・家族の方々に喜ばれています。

先日(8月1日)、スタート1ヶ月の区切りの時に長町病院の金成先生に講演をして頂きました。今後、いかに質のよいリハビリ看護・ケアを提供できるかは、どう多くの職種とチームワークよく患者さんに働きかけられるにかかっていると云えます。

スタッフみんな、より質の高い回復期リハビリ病棟をめざしてがんばってまいりますので、みなさん、協力よろしくお願います。そして、期待しつつ温かく見守ってください。

つ温かく見守ってください。

育児休業取得で感じたこと



長町病院 事務長室 原崎 武志

◆この原稿を書いている7月末、子の乳歯が生え始めました。

息子が生後7日から我が家に来てからこれまで、家内と二人、夢中で子育てに邁進してきたように感じます。息災に育つわが子を見ているとしばしば万葉の歌を思い出します。「銀も金も玉も何せむにまされる宝子にしかめやも」(山上憶良)

大きな意味を持つ

子の熱発などの場合、家内の仕事を考慮すると私が面倒をみることとなります。生後1~2ヶ月までの手のかかる時期の子育てを経験しておくことでその準備ができると考えました。また出産後8週間の時期は、母体の回復に必要な時期でもあり、この時期の父親の育児休業取得は家族にとって大きな意味を持ちます。

産後も順調な家内でしたが10年20年先を考えると身体には良かったのだろうと思っています。子育て初心者である私の場合、ミルク、着替え、お風呂、オムツ、寝かしつけ等の基本から勉強です。

生後間もない頃の夕方のグズリはどうにもなりません。息子が眠りにつくまで気長に相手をすることになります。ある日、お風呂に入れていると子の睫毛が伸び始めていることに気がつきました。家内と二人で数日の間「また伸びたねー」などとその小さな成長を楽しんだりして。

オムツは紙ではなく布を使用しています。交換の度、一次洗いをし洗剤液に浸漬、洗濯します。一日20~30枚を洗濯するのですが、屋外に干してあるのを見ると何となく昭和レトロな感じがします。

0.5%

2005年わが国の男性の育児休業取得率は女性の72.3%に対し0.5%。現状、一定の覚悟を持たなければ父親の育休取得は難しい。育休中の経済面、復帰後の職場での立場などを考慮すると誰しも躊躇するのではないのでしょうか。

「仕事と子育ての両立」が可能な国

ノルウェー、スウェーデンでは「パパ・クォータ制度」を設け父親の育児休業取得向上をはかっています。また合計特殊出生率をみると、わが国の1980年1.75、2003年1.29に対し、ノルウェーは同1.73、1.80、スウェーデンは同1.68、1.71。この数値は国の福祉政策と無関係ではないでしょう。両国は国民の豊かさや国際競争力上位を両立しています。高い国力を維持しながら「仕事と子育ての両立」が可能な社会が世界にはあるのですね。



『原爆症認定を求める集団訴訟』の取り組み

いのちをかけた 被爆者達の最後の闘い

坂総合病院 神 久和



裁判後報告集会で発言する神先生

原爆症認定を求める集団訴訟は、被爆者団体の全国組織「被団協」が呼びかけて、2003年に始めた全国被爆者の「被爆者のいのちをかけた最後の闘い」です。

今年5月28日、仙台高裁で原告2名勝訴の判決が出され、更に5月30日、大阪高裁も原告9名全員の勝訴判決が下りました。結局国側は、憲法違反や判例違反などの控訴理由がなく、最高裁への控訴ができず判決は確定しました。

現在までに、22都道府県の被爆者が15地裁4高裁で裁判を闘っています。原告は294人に及んでいます。裁判途中で亡くなった方が51人います。これらの被爆者は、原爆症認定申請を却下されたが、自分の病気は原爆のためだとして、原爆症として認めべきだと国を相手取っての訴訟をしているわけです。

国側の連敗から 新たな認定基準の運用へ

これまでに判決が出た10

今後更に被爆者の癌などの放射線影響による死亡者数の増加は、2020年頃をピークとして増え続けるとの事です。

現在、原爆症認定医療機関として認定されている坂総合病院や、健診指定医療機関である長町病院は、今後増加するであろう宮城県内の被爆者の原爆症認定申請や認定更新申請の時の書類作成が求められています。被爆者や県の関係者からは長町病院の原爆症認定医療機関としての活動を期待する声が続々と聞かれています。これらの事情に応える医師や関係グループを院内に形成して維持していく必要があります。

原爆症認定訴訟運動の意義 被爆者を二度とつぐら せないための闘いへ

全国の被爆者や認定訴訟運動の原告も、次々に癌などになっていきます。そして、被爆者には明ら

ケ所すべての地裁・高裁の判決は、国の運用してきた認定基準は被爆者の健康被害の実態に合わないとして批判。過小評価してきた原爆投下後の誘導放射線や放射線降下物による低線量被爆後の何十年後での癌発生を有意の影響と評価して総合的に認定すべきである、との判断をしました。

そして、各地裁での判決で、従来の認定基準の限界2km以上の地点での被爆者や被爆直後の市街地への入市者でも、各種の癌や、癌以外の循環器疾患、甲状腺機能低下症などの原告の原爆症認定が続ききました。

こうした司法の判断は、昨年夏の安倍首相の広島での「認定基準の見直し」発言を引き出し、国会・政府を動かして、今年春から十分ながらも前進した新たな認定方法が導入されるに至りました。

新たな認定方法では、①直接被曝での発癌の認定範囲を2kmから3.5km未満へ、

かに癌発生が多いとの統計は、たった一度の原爆被爆ということが、急性時期を生き延びても数十年を経て癌発症に繋がる影響を与えたのだということを証明しつつあります。

このことは、私たちに何を訴えているのでしょうか。広島長崎の悲劇を繰り返せば、一生癌発生への烙印を密かに押された多くの人々を再び生み出すことになり、被爆者や家族の大きな苦しみを

②認定対象をすべての固形癌、白血病、副甲状腺機能亢進症、放射線白内障、放射線起因性が認められる心筋梗塞へと拡大しました。また、③100時間以内の爆心2km以内への入市や、100時間を超えた後でも2週間以内に入市して1週間以上滞在したのも認定するようになりました。その他の疾患も、総合的に審査会で判断するとしています。

この認定方法の変更で、今後約10倍の被爆者が原爆症として認定される見込みとのこと。

仙台での裁判勝利確定で 獲得したこと

更に、仙台で2人の原告が闘ってきた仙台高裁での原告勝利判決が本年5月に確定しました。「被爆が原因と認定できる胃癌の、手術後の合併後遺症(ダンピング症候群)の治療も当然原爆症として認定すべきである」「再発しやすいとされる膀胱

あることだけではなく、大きな社会的な損失にもなるのだということです。今でも原爆被爆者への各種の事業は、年間1千億円を超える予算が組まれています。こうした大きな国家的負担を必要とする悲劇を決して起こさないこと。そのために1日も早く核兵器の完全廃絶を実現させることが必要で、大きな世論にしていけることが、これからの社会を作っていく若い人たちと分かちあう運動の課題でもあることを、見つめることが必要ではないでしょうか。

広島・長崎の悲劇と被爆者の苦しみ、現在から将来へと続いている、私たち自身と日本社会、地球の切実な課題でありつづけていることを、改めて考えてみていただきたいと思います。



原爆展in松島(8月)

癌の内視鏡的手術後の再発予防早期発見のための定期的受診検査期間は、長期的であっても定期的・継続的に通院検査されていけば、その間は原爆症治療期間として認定されるべきである」との判断がされました。

この仙台判決が確定したことは、「対象疾患の認定」を主な争点として闘っている全国の多くの裁判とは性格が異なり、認定範囲の土俵を疾患後遺症治療まで広げ、内視鏡的膀胱癌摘出術の場合にはこれまでの基準とされてきた癌術後5年間の再発注意管理期間を超えた期間までを学会の常識として認定範囲として認めた点で、画期的な役割を果たすことになりました。

原爆症認定集団訴訟への 民医連の果たした役割

この仙台裁判では、全国の民医連の被爆者医療に携わってきた医師達の努力の結晶である「統一医師同意見書」

被爆者の癌発生数は 2020年頃まで増加、 厚生協会各事業所の 公的任務は続く

2005年の放射線影響調査研究所の発表によると、



大崎市長物・ふるまいの紹介
 ……古川民生病院 診療情報室 櫻田 弘美 ……

大崎市といっても旧古川市から旧鳴子町までとても広く、おすすめのものもたくさんあります。今回は昔からの定番とも言える「うまいもの」をいくつか紹介します。

パパ好み (旧古川市)
 大崎市(旧古川市)、ひとめぼれのふる里で生まれ、昭和35年製造開始の米菓子。「ママもよろこぶ」パパ好み」をキャッチフレーズに販売されています。知っている方は聞き覚えがあるフレーズではないかと思えます。

あられ、小魚、ピーナッツも入っていて、とっても美味しいです。まだ食べたことのない方は一度ご賞味ください。

13種類の味ご紹介
 大久保のかりんとう (旧若山町)
 なんと「斗缶」に入っているかりんとうです。「白ごまかりんとう」「や」黒ごまかりん

大崎市長物・ふるまいの紹介
 ……古川民生病院 診療情報室 櫻田 弘美 ……

とうとう「ミックスかりんとう」があります。けつこうりピーターが多いんです。子袋入りもあり、子供が、子袋の頃、斗缶入りを購入して農繁期のおやつに食べた記憶があります。是非ご賞味あれ！

シン巻き (大葉味噌・味噌巻きとも言われています)
 一度は食べた事があるのではないでしょうか。大葉に味噌を巻いて油で揚げたものです。

家庭でも作られていて独自の味付けがあります。味噌の中にくるみ入り、唐辛子入り、ごま入り、とかがあり、鳴子、古川、美里(旧こた)、など、いろいろ販売されています。食欲のない時や保存食としても重宝されています。とても美味しいです。まだの方は是非ご賞味ください。



「自慢」のお店
 ……泉病院 診療サービス課 矢口 まり子 ……

私のふるさと「戸沢村」は、みなさんに一番分かってもらえるのは、「母なる最上川」でしょうか。42軒ほどの小さな集落です。それでも今は、天然温泉があり、「ほんほ館」という名称でいろんな人が訪れています。いかにも、田舎らしい名前を付けたものだと思います。イメージは「たぬぎ」なのですから。

「ゆかり餅」の小さなお店
 そんな田舎で私がいつもお土産にするお菓子がありません。最初は、いかにも田舎っぽくてイマイチな感じでしたが、意外と職場のみなさんの受けが良く、喜んで買っているのを自負しております。こしあんをお餅で包み、さらに梅干の葉でくるまれており「ゆかり餅」と命名されています。そこは、小さなお店で(見たらびっくりするくらい)一つ一つ手作りで。地方発送



名物のゆかり餅



看板猫に出会う旅
 ……長町病院あかつき保育園 保育士 三川 孝子 ……

私の夏休みは新潟と会津で「看板猫に出会う旅」でした。

カーブドッチ
 新潟は市内西地区になる「カーブドッチ」というワイナリー。このオーナーが猫好きでワイナリーのショップには猫の小物もたくさん！もちろん事務所やテラス、レストランに続く庭などあちこちで客寄せしている(気ままに過ごしている)猫に会えます。総数では20匹を超えるかも…。猫好きにはパラダイス(?)のワイナリーです。

駅長猫
 会津の猫は会津鉄道芦ノ牧温泉駅で駅長をしている猫の「バスちゃん」。猫が駅長?と半信半疑で行って見たら、ちゃんと駅舎の前で待っていてくれました。



駅長猫のバスちゃん

この猫駅長、ストラップにもなって駅の売りに上げて貢献しています。この駅の近くには「牛乳屋食堂」という美味しいラーメン屋さんもあります。

猫好き&美味しいモノ好きの皆さんには、「カーブドッチ」(ワイナリーもパンも美味しい!)も猫駅長もぜひオススメします!

山三昧(?)の夏休み
 ……長町病院 SW 矢野 はじめ ……

今年は山三昧(?)の夏休みとなった。これまでは、東北の山を中心にせいぜい北海道の山を楽しむ程度だった。

北岳へ
 今年は、日本一高い富士山は眺めるのがいい、第2の高峰へ登ろうという山の仲間6人で7月下旬、標高3193Mの北岳に登った。3泊4日で北岳、間ノ岳、農鳥岳を縦走。広河原から1500メートルの標高差をひたすら登り、尾根に出ると甲斐駒ヶ岳や仙丈ヶ岳が目の前に見え、富士山もきれいに望むことができて感激。北岳山頂はガスで眺望なし。山小屋泊の楽しみの一つが雲海に沈む夕日やご来光を見ることだが、ガスがかかって唯一残念だった。間ノ岳、農鳥岳、大門沢は途中にも中白峰、西農鳥岳という3000M峰があり、山また山の大縦走だった。長い行程だったが、たくさん花もすばらしかった。シナノキンバイとハクサンイチゲの群落、オヤマノエンドウ、チヨウノスケソウ、ミヤマシオガマ…。中でもミヤマオダ



写真は農鳥岳で。縦走してきた北岳、間ノ岳を背に。

マキ、チシマギキョウがなんとも言えない濃い青紫で印象に残る。

赤岳鉱泉から
 8月は2泊3日で「山の会」の仲間10人で、赤岳鉱泉、硫黄岳、横岳、赤岳と南八ヶ岳のメインコースを歩いた。中高年の会なので赤岳鉱泉と赤岳天望荘に2泊し、ゆつたりと山を楽しんだ。広大なコマクサの大群落、早朝に見た満天の星と流星、ご来光と富士山や北岳、穂高連峰、槍ヶ岳などの眺望。これもすばらしい山行となった。

気のおけない楽しい山の仲間たちと健康あつっこその山。今後も体力アップを意識した生活をしながら…。